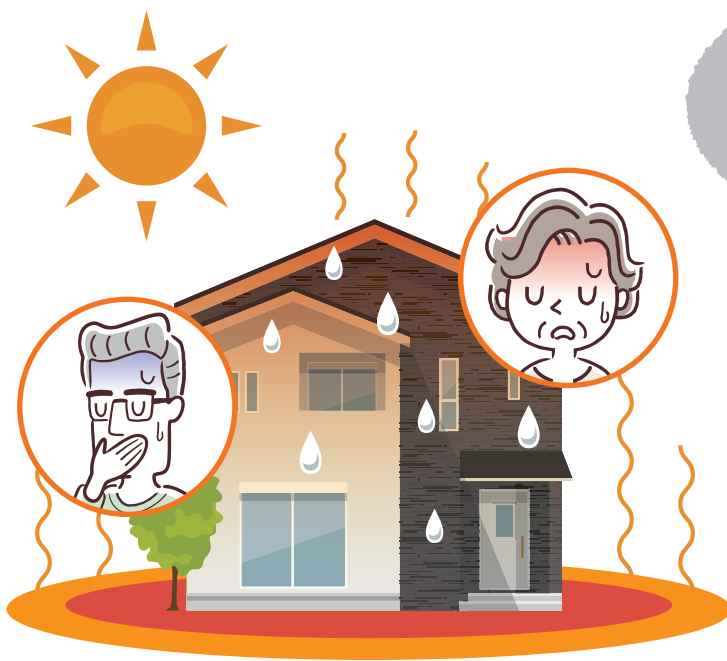




テーマ

室内でも熱中症？知っておきたい

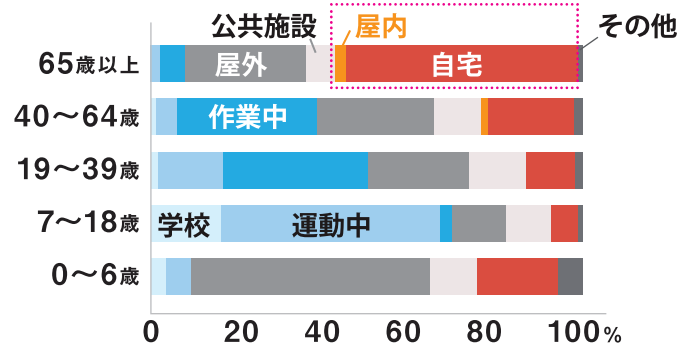
# 住まいの暑さ対策



室内でも  
熱中症の  
危険が！

年配の方は  
特に注意が  
必要！

年齢・発生場所別／熱中症患者の発生割合



出典：「救急搬送データから見る熱中症患者の増加」国立環境研究所 2009年

夏になると心配な「熱中症」。実は熱中症による死亡者の約8割が高齢者で、しかも65歳以上の方は主に50%近くが自宅で発生しています。このように、家の中においても環境次第では「室内熱中症」が起きてしまう危険性があるんです。エアコンや採風をバランス良く取り入れて予防をして暑い夏を乗り切っていきましょう。

## こんな時に起きやすい、室内熱中症

### 室内環境

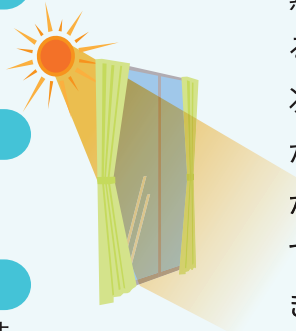
- 風通しが悪い
- 室温や湿度が高い

### からだ

- 高齢者、乳幼児
- 体調が悪い時

### 状況

- 水分補給できず脱水気味
- 長時間の作業



熱中症は、直射日光のあたる屋外で起きるイメージがあるかもしれませんが、室内においても左のような環境や状況次第で熱中症になる可能性があります。そこまで暑くないからとエアコンをつけずに過ごしていて昼間気温が上がって暑さに耐えられなくなる、休憩をとらずに作業をしていて水分が取れていないなどは、気をつければ予防できることもあります。普段の生活から心がけて、熱中症に注意しましょう。

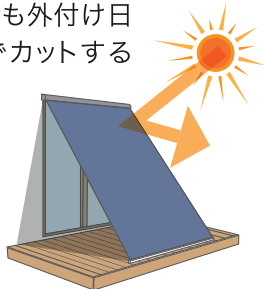
おすすめの対策は裏面へ！

# 日差しを遮り風を採り入れさわやかな室内に

光熱費が値上がりする中、ついエアコンをつけるのを我慢していませんか？ですが熱中症になっては元もこもありません。暑い時間帯は効果的にエアコンを使い、朝夕の涼しい時間だけ窓を開けるなど工夫してみましょう。

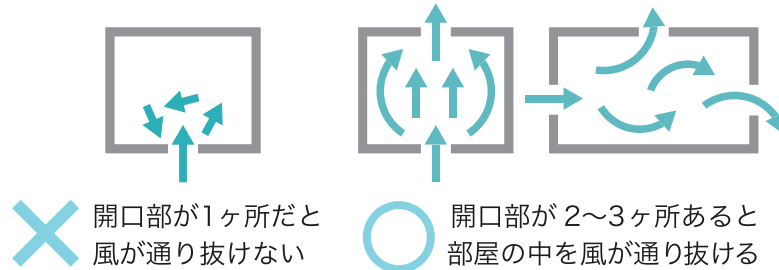
## 室温上昇を遮る

外の暑い日差しや熱は窓などの開口部から入ってきます。日差しは、室内カーテンよりも外付け日よけなどで窓の外でカットするのが効率的。紫外線も遮り日焼け対策にも役立ちます。



## 風通しを良くする

室内に熱がこもらないように、風通しを良くすることも大切。それには、風の入口と出口が必要です。開口部が1ヶ所しかなければ、ドアを開け扇風機やサーキュレーターで風の流れを作りましょう。



今なら  
**補助金**が  
もらえます!

※制度の適用には条件があります。

### 玄関や水まわり等の省エネリフォームに対する補助制度

省エネリフォームの需要が高まる中、国の補助金制度を上手に活用して住まいを快適にいきましょう。

#### こどもエコすまいる支援事業

補助金最大60万円/戸

補助金について詳しくはこちら



#### 住宅エコリフォーム推進事業

補助金最大35万円/戸

補助金について詳しくはこちら



#### 対象商品の例



リフォーム玄関ドア「リシェント」

玄関リフォームがお得!

最大40% 14.4万円補助

※対象:住宅エコリフォーム推進事業

## 日差しを遮る&採風換気のお手軽リフォームはこちら!

### 換気対策特設サイト

住まいの換気対策はこちらもチェック▶



外付け日よけ スタイルシェード

暑い日差しや紫外線をカットし冷房効率アップで光熱費削減にも。外からの視線も遮り、見た目もおしゃれで快適に。

実際の温度シミュレーションを動画でチェック!



1箇所あたり  
約30分~



リフォーム玄関ドア リシェント

採風窓のついたドアを選べば、扉やカギを閉めたまま換気ができるので防犯上も安心。壁を壊さない簡単リフォームです。

採風ドアを動画でチェック!



1箇所あたり  
約1日~